

# 大麦情報(4号)

令和7年3月 日  
砺波農林振興センター  
JAなんと営農部

今年は積雪が多く、生育が遅くなっています。ほ場に雨水などが停滞しないように、雪解け後、すぐには場の排水状況を確認しましょう。

雪解後、ほ場に水が多く停滞し、根が腐り、低収となつた(H30)

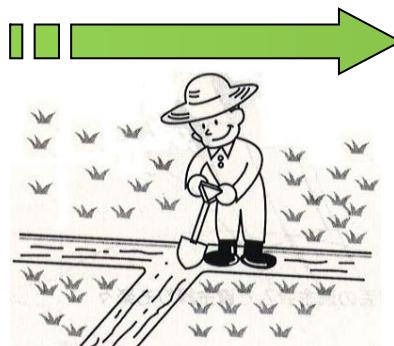


図 止葉展開期の根の状況 (H30 南山田地区)

## 1 排水対策

排水不良のほ場では根が腐り、登熟不良となります。

すぐには場の排水状況を確認し、雨水などが停滞しないように溝を手直しましょう。



溝を連結し、排水を促す

## 2 消雪後追肥の施用 ~追肥前に排水を良くし、肥料効率を高めましょう~

### (1) 分施体系 (基肥: 「基肥555」)

施用時期 (3/25~31頃)	茎数	硫安の施用量
ほ場に停滞水がない状況で 施用直後に多雨や降雪が予想されない頃	少~並	20kg/10a
	多※	15kg/10a

※「茎数:多」は、麦が繁茂し、土が見えないようなほ場 (m<sup>2</sup>当たり1,200本以上)。

### (2) 肥効調節型体系 「エコ大麦44号」

原則、追肥は不要です。なお、色が極端に淡い場合などはご相談ください。

JAなんとメールマガジン  
の登録は[こちらから](#)  
営農情報をスピーディーにキャッチ!



お問い合わせは、JAなんと営農部(62-0261) または  
砺波農林振興センター南砺班(32-8147)へ